よっちゃんのビー玉（1999）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本

【解説】
　児玉辰春の絵本をアニメ化した作品であり、広島の原爆資料館にある熱で溶けたガラスビンにまつわる物語。 昭和20年広島市、4歳のよっちゃんは実雄兄さんからビー玉をもらって大喜びだった。だが数日後兄さんは軍隊に入る事になった。戦地に向かうその日、広島駅に駆けつけたよっちゃんは鎧戸の下りた列車に向かって「死なないで帰ってきて」と泣き叫ぶ。だが広島に落ちた原爆によって「死なないで」と言ったよっちゃんの方が皮肉にも命を落としてしまう……。『はだしのゲン』『白い町ヒロシマ』『キムの十字架』の山田火砂子が企画・脚本。

【クレジット】

監督	青木雄三	
製作	萩原攸司	
企画	山田火砂子	
プロデューサー	滝元将	
原作	児玉辰春	
脚本	山田火砂子	
美術	山本二三	
	中原英統	
作曲	兼崎順一	
録音	千葉耕市	
声の出演	坂本千夏	よっちゃん
	飛田展男	実雄
	笹本晃	忠浩
	相生千恵子	母
	水鳥鉄夫	父
	高木礼子	久絵
	大島明美	雪江

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.